

# 全国中国語教育協議会

ニューズレター

第19号

2001年4月3日発行

## 春のセミナーにあわせ、第4回理事会を開催

### 今後の活動には中国語教育学会への移行も視野に

去る3月26日(月)に日本大学文理学部を会場に「春のセミナー」が開かれた。会則により本年は昨年のような3月の大会開催がないこと、第2土曜が定例の月例セミナーには時間的に出席者が限られること等から、春休み期間のセミナーを企画したものであるが、なお学年末の繁忙期でもあり、参加者は29名にとどまった(ちなみに昨年3月の大会は74名)。しかし、首都圏に偏りがちな月例セミナーと異なり、九州・中国・関西方面からも出席があり、ミニ懇談会も20名以上が参加して、協議会の活動や、大学における外国語科目としての中国語の位置付け、中国語教育の実態調査、各種検定試験の問題点等、短時間ながら活発な意見交換が行われた。当日午前には第4回理事会も開催され、本協議会の現況をふまえて、今後の活動には中国語教育学会への移行も視野にしていること等が論じられた。諸報告の概要は本号p.2~3に掲載する。

### 今からでも参加できる 4月のセミナーご案内

今年度前期の日程(5月以降)はP.4に掲載していますが、すでに会報前号でご案内の4月セミナーに参加ご希望の方は至急ハガキで事務局にご連絡の上、会費は当日ご持参でお越しく下さい。

(4月セミナー) 4月14日(土) 13:30~16:30 会場は国際文化フォーラム(従前と同様)

「発音・朗読クリニック」講師：東京外国語大学 孫玄齡氏

毎回好評のクリニックですが、事前に発音・朗読等の材料を送付して、録音テープをご提出いただき、当日、講師がコメントと解説を行っています。ただし、今回の直前お申し込みの場合、材料はお送りしますが、必要の場合、発音・朗読は会場にて直接のクリニックとなります。

#### 新年度会費納入のお願い

本会の経費は年度会費2000円と有志の寄付金によっています。前年度の納入率は75%でした。各位の一層のご協力をお願いします。

今年度も本号に振替用紙を同封いたしましたので、お振り込みをお願い申し上げます。納入済みの方には同封しておりません。前年度未払いの方にはその分もご請求しました。年度早々のお願いですがご高配ください。

#### 事務局のご案内

156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部中文研究室内

全国中国語教育協議会

郵便振替口座 00120-0-364168

(会費・寄付金振込にご利用下さい)

なお、お問い合わせ・ご連絡等は、専従の事務局員がおりませんので、お手数でも郵便でお願いいたします。

## 【全国中国語教育協議会会務報告】

### 1 現況報告

- 1) 本年3月16日における会員数は229名(前年と同数)。
- 2) 本年3月16日における2000年度分の会費納入状況は納入済173名、未納者56名で、納入率は75.5%(前年は3月9日現在で納入率73.3%、未納者は61名)。
- 3) 会計監査は平井和之、加藤晴子の両会員により下記2・3につき3月17日に実施された。

### 2 収支報告(一般会計の部)

以下は前回報告(2000年3月16日)後の収支状況である。

#### [収入]

会費 420,000 (00年分346,000、前年度までの未納分46,000、預かり金等28,000)  
寄付金 43,000 (計14件:8千+6千+4千+3千+3千+3千+3千+3千+2千+2千+2千+2千+1.5千+0.5千)(寄付者芳名:加藤晴子、陳文正、松本洋子、今井敬子、岩崎富久男、桜庭ゆみ子、高橋弥守彦、千島英一、立石廣男、陳洲拳、陳祖蓓、林原千晶、金子真也、宮本厚子、以上敬称略)

合計 463,000

前年繰越 362,751 (375,251円のところ、預かり金12,500を会費収入に移す)

総計 825,751 (円)

#### [支出]

通信費(切手・葉書等) 91,960 (支払月日 5/1, 6/2, 10/20, 11/4, 2/27, 3/7)

事務用品(ラベル・インク) 6,426 (支払月日 6/20)

事務幹事手当、会計監査等交通費 69,000 (支払月日 3/17, 5/9, 9/26, 1/16)

会議費 14,857 (支払月日 3/17)

合計 182,243

以上、収支差し引き残高 643,508 (円) ①

(注)預かり金とは会費納入時の過払い金で、それぞれ費目を問合せ中のもの)

### 3 収支報告(セミナーの部)

#### [収入]

セミナー受講料 236,000

寄付 70,000 (計4件:2万+2万+2万+1万)(寄付者芳名:西川優子、平井

前年繰越 15,042 和之、加藤晴子、大川完三郎)

合計 321,042

#### [支出]

講師謝金合計 240,000 (講義時間180分超30,000、180分未満20,000とする)

以上、収支差し引き残高 81,042 (円) ②

(なお、今回までの奥水講師への謝金合計280,000円は別途預かり金として保留してある)

上記①+② 724,550 (手元残金→現金+振替貯金)

以上、2001年3月17日に会計監査(平井和之、加藤晴子の2氏)による監査を終了(印鑑省略)。

【会費納入に関し事務局からのお詫び】昨年度(2000年)の会費請求の際、事務局の手違いにより、約10名の方について会費の既納を未納としてご請求申し上げるミスが生じました。個別に事情をご説明する文書をお届けするとともに、不手際を心からお詫び申し上げます。

## 【第4回理事会報告】

去る3月26日に日本大学文理学部において全国中国語教育協議会第4回理事会が開かれた。理事現員21名のうち、9名の出席(代表理事4名は全員出席)を得て、①会計報告、②活動報告、③今後の活動方針等の議題について約1時間半にわたり報告・討論が行われた。

1)会計報告 p.2の収支報告(一般会計、セミナー会計)を参照していただきたい。

### 2)2000年度活動報告

#### (1)会報(ニュース・レター)の発行

第15号(2000年5月)、第16号(同7月)、第17号(同11月)、第18号(2001年2月)

今年度は、年間5回発行を予定していたが、事務局の都合で4回の発行にとどまった。

#### (2)セミナー(教員研修)の開催

月例セミナー(会場：懇国際文化フォーラム会議室)

4月15日(土)	ローマ字の注音表記について	日本大学	輿水優	参加者数	15
5月13日(土)	初級教育—私のノウハウ	学習院大学(非)	西川優子	"	10
6月10日(土)	試験問題を採点する	東京外国語大学	平井和之	"	13
7月8日(土)	発音と朗読クリニック	東京外国語大学	孫玄齡	"	10
9月9日(土)	私の中国語教授法	日本大学	輿水優	"	13
10月14日(土)	私の中国語教授法	明海大学	加藤晴子	"	12
11月11日(土)	私の中国語教授法	中央大学	佐藤富士雄	"	13
12月9日(土)	私の中国語教授法(誤用から学ぶ中国語)	國學院大学	大川完三郎	"	20

今年度は事務局の都合で夏期セミナーを開かなかつたが、9月に月例セミナーを行った。

#### (3)資料等の刊行

今年度は、研究ファイル、セミナー報告とも刊行できなかった。前者については2点の投稿のほか、投稿申し出もあったが、いずれも審査段階で不採用となった。

### 3)今後の活動方針

上記活動報告でわかるように、2000年度は月例セミナー以外は低調に推移した。セミナーも出席者が限られ、とくに新規の参加が少ない。それぞれに理由のあることだが、なんといっても事務局の力不足は否めない。会長と幹事が本務の合間に会務を処理する程度で、現在の会員数だからこそ維持できるが、積極的なPRをすれば到底やっつけなくなる。まず、事務局の確立を果たし、より多くの同志を集めて活動しなければ、本協議会設立の意義が薄れてしまう。このような現状に照らし理事会の席上で、会長から「中国語教育学会」への移行について今年度に具体的な検討をすることが提起され、意見を交換した。事務局と運営スタッフの持ち回りをはじめ、資料等の刊行や研究報告会の開催も、「学会」という名であれば、より公的な存在とされるのではないかと。現況も決して私的な集まりではないが、大会開催時に大学からの金銭的補助を受けるには「学会」の名が求められる、といった話も披露された。幅広い参加者を期待できる「協議会」の名も捨て難いが、新年度は現体制で精一杯の活動を進め、教育学会への移行も探る方針が示された。財政的な基盤については、積極的な活動のためにも出版社等の寄付金受け入れの是非も論じられた。

◆大学入試センター試験の中国語問題入用の方は事務局へ申込を◆  
本試験+追試験は80円切手7枚、追試のみは80円切手5枚同封のこと

## 2001年度セミナー(前期)のご案内

今年度も前年度と同様に、土曜日午後利用の月例セミナー(教員研修)を実施します。月例セミナーは各月第2土曜を原則としています。

4月のセミナーは前号でご案内をしました(今号P.1にも掲載)ので、ここでは5月～7月のセミナーをご案内します。なお、99年度からの新しい試みとして参加者から意見票(兼質問票)を事前にお送りいただいておりますが、今期に限り、内容等との関係で用紙の送付を中止し、会場にて出来るだけ意見交換の時間がとれるようにいたします。参加資格は会員(教歴の比較的浅い方を特に歓迎)を優先いたしますが、会員外の方でも積極的な参加を求めたく、会員各位には周囲の方々へのPRもお願いしたいと思います。昨年度は各回とも定員割れでした。各回15名に達しないと維持が困難です。

### 2001年度5月～7月セミナー要項

☆各回の日程および研修テーマと講師

(5月) 5月12日(土) 中国語教育と認知文法〔仮題〕  
大阪外国語大学 古川 裕 氏

【講師からの一言】認知文法的な見方が教育にどう活かせるか、というお話をしてみたい。

(6月) 6月9日(土) 新刊中国語教科書を採点する  
日本大学 奥水 優 氏

【講師からの一言】今年度も数多くの教科書見本が届けられた。相変わらずその多くは「自家用教科書」。なんとかならないものか。

(7月) 7月14日(土) 中国語初級文法のガイドライン  
日本大学 奥水 優 氏

【講師からの一言】初級段階の文法について、あれこれ論じてきたが、この辺で段階別に具体的なガイドラインを提示してみたい。

☆時間割りと会場

各回とも研修時間は、午後1時半～4時半(1時10分受付開始)。

会場は従前通り(財)国際文化フォーラム会議室(新宿駅西口、新宿第一生命ビル26F)

☆申し込み方法 葉書に参加希望の月と、氏名・連絡先(住所)・所属・中国語教育歴をお書きの上、事務局へお送りください。定員各30)。申し込みは直ちに受付を開始します。折り返し、ご案内と受講料の振込用紙を郵送します。受講料は1回=¥2,500、一括申し込みは、2回=¥4,500、3回=6,500、4回=¥8,500となっていますので、本年4月のセミナーにもお申し込みずみの場合、5月以降は1回につき¥2,000ずつ増となります。各回ごとのお申し込みは、そのつど¥2,500となります。